

経済学Ⅰ(2)

(貨幣の二元性を再確認する)

4. 重商主義と貨幣の資本機能

重金主義

(グレシャムの法則から価格革命への移行を説く)

貿易差額主義

(富としての貨幣から資本としての貨幣への移行を説く)

紙幣重商主義

(信用創造の先駆をローに即して説く)

なお、必ずしも上記計画通り進まない場合がある。
(授業回数はフィードバックを含め全15回とする)

[履修要件]

経済学 (大黒担当) の連続した履修が望ましい。

[成績評価の方法・観点]

前期試験の成績による。

[教科書]

使用しない

[参考書等]

(参考書)

大黒弘慈 『模倣と権力の経済学：貨幣の価値を変えよ（思想史篇）』（岩波書店）ISBN:978-4000253208

大黒弘慈 『マルクスと贋金づくりたち：貨幣の価値を変えよ（理論篇）』（岩波書店）ISBN:978-4000253215

その他、授業中に適宜紹介する。

[授業外学修（予習・復習）等]

比較的早い時期に、経済学史を通覧した簡便な本を通読しておくことが望ましい。経済学史上の古典を一つ選び、講義の進行とともに読み進めると学習効果が上がる。

[その他（オフィスアワー等）]

詳細な授業計画を、初回に配布する予定である。